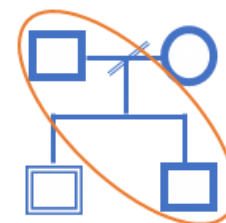


事例の概要①

氏名：水道橋 久さん
 年齢：25歳
 性別：男性
 障害名：軽度知的障害
 障害支援区分：3
 経済状況：障害基礎年金受給、就A工賃
 心身の状況：身長175cm 体重80キロ
 特に問題ない。久さんは最近肥満体形になってきているのを気にしている。

家族構成

父：無色（もともと大工）
 事故後遺症あり
 母：離婚し別居
 統合失調症治療中
 弟：5歳下。兄の面倒までは見られない



事例の概要：

2人兄弟長男として出生。小学校3年生から特別支援学級。軽度知的障害と判定され、中学より特別支援学校に進学。中2で両親離婚。高等部卒業後、製造部品工場に勤めたが上司が変更になり、退職し引きこもりがち。その後、父が交通事故にあい、大けがをして麻痺が残り生活保護となった。3年前にGH「ピアハウス」に入居し、同時に就B「スマイル」を利用していたが自信もついてきたので、最近A型「えがお」に変更となった。GHでは、家事全般できることが広がってきていたが、最近では促しの声掛けをすることが必要になっている。

事例の概要②

服薬状況	夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。
経済状況	【収入面】 生活保護 【支出面】 グループホームの費用 家賃30,000円（家賃補助10,000円） 食費20,000円 高熱水費15,000円 日用品費 3,000円 生活費（おこづかい）20,000円 金銭管理は、仕訳を手伝えればその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。
趣味	昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など
キーパーソン	父親。交通事故で右半身に麻痺があり自分のことで精一杯な様子。
家族	父方母方の祖父母について 父方の祖母は県外（遠方）にいるが、母方の祖父母は他界している。 両親と暮らしていたころは、年1回は家族で父方祖父母に会いに行っていた。
就労	手先が器用で興味をもつと集中できる。また、面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感を述べる。「1人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことがないが、練習しただいでは利用できそうである。

事例の概要③

【3年前の望む暮らし】：

全体

「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」

「困りごとは相談したい」

「3年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」

生活面

「自分のことは自分でできるようになりたい」

「将来は一人で暮らしたい」が「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」

「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができたら最高」

就労面

「3年後ぐらいにはまた働きたい」

「今は働くことの自信はないので力をつけたい」

「1人でコツコツと集中できる作業が好き」

「働くときには優しい上司がいるところが良い」

【現在の本人の言葉】：

「一番最初の給与は3万円だったが、今は6万円ぐらいもらっているので、自分の目標である、1人暮らしをしたいと思っている。」

事例の概要④

『水道橋久さん 3年前から現在までの障害福祉サービス利用の状況』

《共同生活援助（GH）「ピアハウス」》

- 3年前に比べると、家事全般は自分でできることが増えた。
- 就B「スマイル」での仕事を頑張っているせいか動きが緩慢であったり、促しの声が必要なことも増えていた。
- 朝も起きられず世話人に起こしてもらうことが増えていた。
- 精神病院を退院した日野さんが新たに入居した。久さんと日野さんは一緒に過ごしていることが多い。

《就労継続支援B型「スマイル」》

- 早起きが苦手なことを考慮し、久さんには遅くとも昼食までに通所するよう伝えていた。この利用時間設定にするとスムーズに通所ができるようになった。カフェでの仕事に自信が持てるようになり、接客、皿洗いなどを精力的にこなしていた。
- いつかは一般就労をしたいと言っており、就Aへの移行を希望していた。

《就労継続支援A型「えがお」》

- GH「ピアハウス」の隣町にある就労継続支援A型「えがお」に空きが出たとの情報が入り、急遽見学と体験利用を行った。
- 本人の意向も確認したうえで、就A「えがお」を利用することになった。
(11:30～16:00までの3時間半勤務 通所日：火・水・木・金・日 休日：月・土)
- 順調に通所できており、久さんは月給が増えたことを喜んでいる。

個別支援計画書

利用者名

水道橋 久

総合的な援助の方針	グループホームでは生活上のさまざまな経験を積み、就労A型では自分で決めたことを守り、自信をもって仕事をする。 また相談できる力をつけることや楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標を達成できるように支援する。
長期目標	①掃除・洗濯・調理など自分でできることはやる。 ②分からないこと、困っていることは相談し、解決できるようになる。 ③余暇の時間を楽しみたい。(休みの計画を立てる)
短期目標	①決まった時間に起きる。 ②担当と話をする。

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
自分でできることを増やしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 掃除:写真を見て整理整頓をする。 洗濯:ため込まないようにする。 調理:調理のレポートを増やす。 分からない時は職員に聞く。(相談する) 	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓された状態を写真に撮り、同じようにしてもらう。 洗濯がされているか確認する。 簡単な料理の作り方(クックパッドなどを見ながら作るなど)を伝えて自分でやってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは毎日やる。(掃除・洗濯・調理) GHの当番の時は適時。 	世話人 岡崎 支援員 名古屋	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 目覚ましをセットして自分で決めた時間に起きる。 バスの時間に間に合うようにGHを出る。 	<ul style="list-style-type: none"> 就床・起床のリズムを作るように一緒に時間を決める。 目覚まし音が鳴り続けている場合は部屋に入って起床を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 就床:22:00 起床:7:30 	世話人 岡崎 支援員 名古屋	1
分からないこと、困りごとなど相談できるようにになりたい。	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとは職員に相談する。 他利用者と話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からないこと、困りごとはいつでも話を聞きます。 毎日の出来事を振り返る時間を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 困っているときはいつでも。 夕食後に振り返りの時間 	世話人 岡崎 支援員 名古屋	3
楽しみを見つけない。 (休みの計画を立てる)	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫図鑑を見て気持ちをリラックスさせる。 休みの計画を自分で立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 休みの時間の使い方を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 休みの前に決める。 	世話人 岡崎 サビ管 川崎	2

確認年月日 令和 年 月 日

利用者名 印

サービス管理責任者 川崎 印